



災害時における協力協定を締結 ～次世代電気自動車の寄贈を受けました～

南河内郡河南町は、5月22日、住民の生命、身体及び財産を守ることを目的として、エムケイ観光バス株式会社及びHyundai Mobility Japan株式会社と災害時協力協定を締結しました。

また、同日、Hyundai Mobility Japan株式会社から次世代電気自動車を寄贈していただきました。



■ 概要

災害時等に停電が発生した場合、エムケイ観光バス株式会社が所有する電気自動車(バス)や、Hyundai Mobility Japan株式会社から寄贈を受ける電気自動車を、避難所等において非常用電源として活用し、避難所等の円滑な運営につなげます。また、エムケイ観光バス株式会社が所有する電気自動車充電スタンドを利用し、電力の配給環境を提供します。

平時においても、町が実施する防災訓練への参加など、防災力向上にむけて相互に協力します。

なお、今回寄贈を受ける車両は、Hyundai社が製造する次世代電気自動車 IONIQ 5(アイオニック5)で、平時においては町の公用車として活用します。

■ コメント

●河南町 森田町長

今回の協定は、本町の防災力向上に大きく寄与するものと期待しております。災害時の停電対策として、避難所等での電力確保は重要な課題であり、今後も実効性の高い防災体制づくりをさらに進めてまいります。

●エムケイ観光バス株式会社 金本社長

当社では、日常の輸送サービスに加え、地域社会に貢献できる交通事業者でありたいと考えています。今回の協定締結を通じて、電気バスが従来からのCO2を排出しない環境性能に加え、新たな価値を地域防災の分野でも活用し、災害時においても地域の皆さまに安心を提供できる体制づくりに取り組んでまいります。

●Hyundai Mobility Japan株式会社 七五三木社長

ヒョンデは、電動モビリティを通じて環境負荷の低減と地域社会への貢献に取り組んでいます。電気自動車が備える給電機能は、災害時の電力確保において有効な手段となり得るものです。今回の協定および電気自動車「IONIQ 5」の提供により、平時は公用車として、災害時には避難所を支える電源として活用いただくことで、地域の防災力向上に寄与することを目指しています。今後も電動化技術を通じ、持続可能な社会の実現と地域の安全・安心への貢献を推進してまいります。

【本件に対する問い合わせ】

〒585-8585 大阪府南河内郡河南町大字白木1359-6 政策総務部自治防災課
TEL:0721-93-2500 FAX:0721-93-4691
担当者:藤木 メールアドレス:jichibousai@town.kanan.osaka.jp